

くらし・憲法・平和を破壊する 大軍拡・大增税に断固反対する

5兆円超の軍拡が暮らしを破壊する

消費税

10%
↓
12%に

防衛費5兆円を賄うためには、消費税を最低でも2% (約4兆円) 上げる必要がある。

医療費負担 (現役並み所得者)

自己負担3割
↓
6割に

現在、現役並み所得者の医療費負担は3割だが、倍の6割にし、約5兆1000億円を社会保障費から削る。

年金

年間12万円
減額に

年金受給者1人当たり年間12万円ほど減額すれば、約5兆円をまかなうことができる。

その暴走は、①くらしを破壊、②憲法の破壊、③平和の破壊と厳しく批判しました。

左右の図は
平和委員会
のパンフから

戦争か平和か、日本は重大な岐路に立っています。ロシアによるウクライナ侵略に乗じて、反撃能力と称して、敵基地攻撃能力「保有を自民・公明が合意。戦争国家づくり」への暴走が岸田政権によって加速されています。

日本共産党の志位委員長は8日、岸田首相が軍事費を5年間で総額43兆円にすること、不足する額は増税を指示したことを危険な暴走だと表明。

軍事費を暮らしに回せば…

子育て・教育	年金	医療	消費税
大学授業料の無償化	受給権者(4051人)全員に1人年12万円を追加で支給	公的保険医療の自己負担(1~3割)をゼロに	現在10%の税率から、2%を引き下げ
児童手当の高校までの延長と所得制限撤廃	4兆8612億円	5兆1837億円	4兆3146億円
小中学校の給食無償化	1兆円	1.8兆円	4386億円

このように「くらし破壊」は明らかです。軍事費を削って暮らしにまわせば、暮らしに回せば暮らし応援の力強い味方に。▼1兆8千億円で大学授業料の無償化、▼4兆3千億円で年金を2%引き下げ可能です。

日本共産党はみなさんといっしょに断じて戦争しない「暮らしを守る」政治をめざしてたたかいます。

頭上に。泣き叫ぶ赤ん坊、逃げる子、半狂乱の母、パジャマのまま出撃していった父。次つぎと炎に包まれる戦艦から燃え盛る油の海に飛び込む兵士たち。太平洋戦争の始まりを体験した家族の証言をまとめた『パールハーバーの目撃者』は、日本軍の奇襲を受けた一日をまざまざと伝えています▼敵基地への先制攻撃。それは日本にとっての、破壊への第一歩でした。ところが、今につながる過去を忘れ、自民、公明の両党は敵基地を攻撃する能力を保有することで合意しました。みずから仕掛け、国の内外に未曾有の惨禍をもたらした戦争。その反省の上に立った戦後日本の安保政策をひっくり返し、岸田政権は大軍拡に走り出しました▼長崎で教員を長くつとめ、先の本の訳者でもある山本みづほさんは、あとがきでこんなことを。「沖繩、ヒロシマ・ナガサキ、そして、パールハーバー。もう一度考えてみなければならぬと、強く、強く、思うのです」

(2022・12・8)

ご相談・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

